



2021. 1. 16.

ワイン醸造実務ニュース (Oe-1/2021)

O.I.V.の関連 他

既にご案内の件かと思いますが、何人かの会員様から問い合わせがあり確認のため発信します。

1. ブドウ “Yamasachi N” (山幸 赤) が、O.I.V 品種リスト (International list of vine varieties and their synonyms) に記載されています。

日本の品種の記載は、“Koshu Rs”, “Muscat bailey A N” について3品種目となります。

なお、O.I.V の H/P から閲覧可能な現在の O.I.V 品種リストは2013年版で、こちらには記載されていません。Country Profile Database 版で確認してください。

今後この品種の記述は、Description of grape varieties throughout the world (O.I.V 品種記述) が OIV-VITI 467-2012 や OIV-VITI 609-2019 (O.I.V descriptor list for grape varieties and Vitis species) に従って更新される際に記載される予定です。

2. O.I.V.の醸造規則 (International Code of Oenological Practices) に、新しい醸造方法として醸しによる白ブドウ (O.I.V 品種リストで “B” と記載) 醸造法が追加されています。

RESOLUTION OIV-ECO 647-2020 (WHITE WINE WITH MACERATION)

特有の香味を有したジョージアワインに配慮したものと思われます。専門家会議の論議の中でオレンジワインの話題も出ていたことから、今後この醸造方法に関連したワインの定義なども予想できることからフォローが必要かと考えられます。

3. 「甲州」のゲノム情報解析の結果が報告されています。

山梨大学と東京農業大学の共同研究成果が下記に掲載されています。

欧州系ブドウ品種と比較して機能性の異なる遺伝子も複数個発見されていることから、今後の甲州ワイン品質向上に向けた新たな取り組みが期待されます。

<https://www.frontiersin.org/articles/10.3389/fpls.2020.532211/full>

(「山梨大学：山梨大学の最近の動向、令和2年12月11日」より)

文責 (一社) 葡萄酒技術研究会 専務理事 村上安生